

プログラム番号	09004
---------	-------

平成21年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	京都大学工学研究科		
②学長名	松本 紘		
③所在地	〒606-8501 京都市左京区吉田本町		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	国際部留学生課教育支援グループ	
	担当者氏名	甲斐 久美子	e-mailアドレス kumiko.kai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
	電話・FAX番号	075-753-2489 (TEL), 075-753-2562 (FAX)	
⑤ホームページ URL	http://www.kyoto-u.ac.jp		
⑥大学院在学留学生数	1,194人 (うち、国費留学生 484人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	融合工学コース人間安全保障工学分野
②プログラムの形態	博士課程又は博士後期課程 (3年間)
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が単数
④実施研究科・専攻	工学 研究科 都市環境工学 専攻
	(所在地) 〒615-8540 京都市西京区京都大学桂
⑤連携大学・研究科・専攻名	京都大学工学研究科・都市社会工学専攻、社会基盤工学専攻、建築学専攻
⑥受入れ学生数	20人 (うち研究留学生優先配置人数: 4人) (うち日本人学生数: 8人)
⑦担当教員数	合計 127人 (うち専任: 127人、兼任: 0人、非常勤: 0人)
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名: 工学研究科・工学研究科長
	研究科長名: 大嵐 幸一郎

### 【3. プログラムの内容】

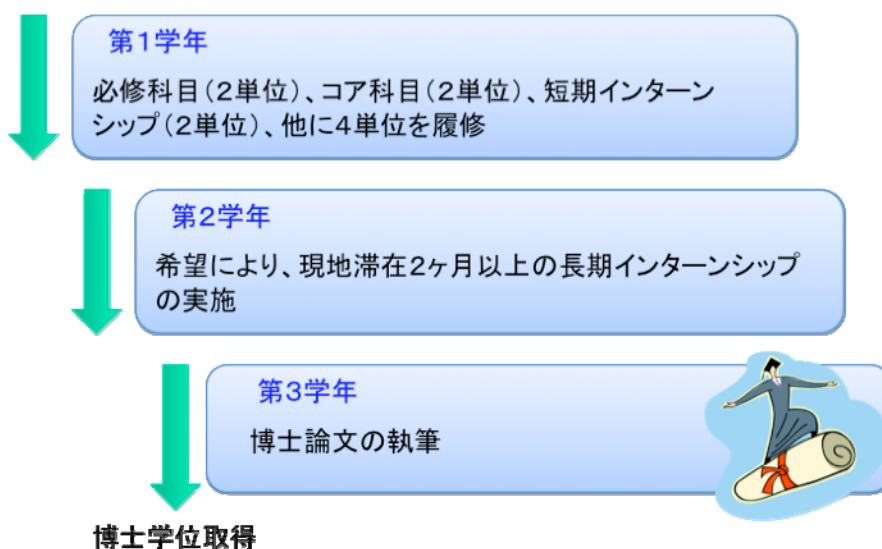
#### 1. 教育目標

##### （4つの学問領域の素養を持つ、独創・国際・自立の人材養成）

本プログラムは、博士課程学生を対象として、都市の人間安全保障工学を支えるコア領域と4つの学問領域（都市ガバナンス、都市基盤マネジメント、健康リスク管理、災害リスク管理）について、複数に跨がって確実な素養を獲得させ、それらを都市の人間安全保障確保に向け目的に応じて統合化し適用する能力と、その技法を深化・進展しうる能力を持った研究者及び高度な技術者を養成します。具体的には、**独創性**（アジア・メガシティの人間安全保障工学に関する幅広い知識と高い専門性を有するだけでなく、既存の専門分野を越える能力）、**国際性**（英語での研究討論・発表能力、海外での教育・研究活動、人的国際ネットワーク構築能力）、**自立性**（研究立案能力、教育・研究指導力、研究資金獲得能力、現場での解決能力）などの素養に富んだ人材を養成することを目標としています。

教育目標達成のため、人間安全保障工学概論、4つの学問領域からの基礎科目、海外インターンシップなどからなる英語による教育プログラムが組みられています。教育を担当する部局として、工学研究科（地球系3専攻、建築学専攻）、地球環境学舎、防災研究所が参画しています。

#### 博士課程学生の典型的なコース



#### 2. プログラム開設科目

プログラム科目として、工学研究科においては表1の科目を開設します。講義は全て英語で実施されます。

#### 3. プログラム修了要件

- 1) 表1のコア科目の内、必修である人間安全保障工学概論（2単位）を履修していること。
- 2) A群～D群科目のコア科目から1科目2単位以上を履修していること。
- 3) 表1のORT科目から、2単位以上を履修。
- 4) 上表より10単位以上を履修すること。ただし、4単位以内に限り、主指導教員・副指導教員の指導の下、上表にない大学院科目も修了に必要な単位として認めることができる。
- 5) 本プログラムの趣旨に則った学位研究を行い、博士論文の審査に合格すること。

#### 4. プログラム履修計画に基づく履修指導

本プログラムでは、学生に対するきめ細かい履修指導などを実施するため、人間安全保障工学教育プログラム履修申請書提出時に、科目の履修計画を作成し、指導教員の承認を受けて提出することを要求しています。履修計画は学年進行時においても変更可能ですが、指導教員の承認を受けなければなりません。

表1: 科目標準配当表(人間安全保障工学分野3年コース)

科目分類	科目名	毎週時数		単位数	科目区分
		前期	後期		
	人間安全保障工学概論	2		2	必修/コア科目
A 群	都市ガバナンス論	2		2	コア科目
A 群	都市ガバナンス学各論 1	2		2	
A 群	都市ガバナンス学各論 2		2	2	
A 群	★地球環境法・政策論	2		2	
B 群	都市基盤マネジメント論	2		2	コア科目
B 群	交通ガバナンス論		2	2	
B 群	都市基盤マネジメント学各論 1	2		2	
B 群	都市基盤マネジメント学各論 2		2	2	
B 群	★地球環境経済論	2		2	
C 群	環境リスク管理リーダー論	2		2	コア科目
C 群	健康リスク管理学各論 1	2		2	
C 群	健康リスク管理学各論 2		2	2	
C 群	アジア環境工学	2	(2)	2	
C 群	★地球資源・生態系管理論	2		2	
C 群	★環境倫理・環境教育論	2		2	
D 群	災害リスク管理論	2		2	コア科目
D 群	災害リスク管理学各論 1	2		2	
D 群	災害リスク管理学各論 2		2	2	
	人間安全保障工学 インターンシップ	(2)	(2)	2	ORT 科目
	アドバンスド・ キャップストーン・プロジェクト	(8)	(8)	8	ORT 科目
	研究論文(博士)				必修

- ・ A 群: 都市ガバナンス研究領域, B 群: 都市基盤マネジメント研究領域, C 群: 健康リスク管理研究領域, D 群: 災害リスク管理研究領域
- ・ 「★」印は地球環境学 提供科目
- ・ ORT 科目: On-site Training 科目または On the Research Training 科目

人間安全保障工学インターンシップの例(通常2週間): 1) 国際会議での研究発表と海外大学研究室での情報収集 2) 最先端技術や実務手法研修のための通常の企業インターンシップ  
 アドバンスド・キャップストーン・プロジェクトの例(現地2ヶ月以上): 1) 各学生の研究のための海外拠点でのフィールドワーク 2) 人間安全保障工学に関連した国際機関での研修